

総合的な学習の時間における 地域教材の生かし方



東部教育事務所



本年度の重点

地域への理解と愛着を深め、総合的な学習の時間における地域教材の生かし方について理解する研修を通して、指導力の向上を図るとともに、初任者同士の人間関係づくりを促す。

本年度の重点

エージェンシーを発揮する

「自律した学習者」へ

～「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」の実現に向けて～

／ 幼児教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます ／



自分で学びをつくる楽しさ





知らないことを知るのうれしいよ



失敗してもいい
自分のペースで話そう





違う考えがあるから面白いね

学校生活の中で、写真のような子供たちの姿が現れるといいですね。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する**自律した学習者**になっていくことが大切です。

でも、実際は、こんな感じの子が多い…

＜ 間違えているかもしれない内容がら照ってしよう。言わねえことだけすればいい。＞

エージェンシーとは、「人が誰しも生まれついて持っている自分と社会をより良くしようとする意志、原動力」です。学ぶ内容は、幼稚園教育要綱や学習指導要綱に示されている内容であり、これまでも変わっていません。今、私たちが教師に必要なのは、**子供たち自身の力を信じ、学びの転換を図ること**です。

**一斉型の講義を受けるだけの
受動的な学び**

➡

**能動的で他者と協働した学び
(主体的・対話的で深い学び)**

（取り入れたい場面）

自己決定

対話交流

+

試行錯誤

対話交流

子供たちの力を信じるということは、学習の進め方や方法を全て任せて、教師は放任するという意味ではありません。問題を解決していき学びの場を、右に示した場面を意図的に取り入れていくことが大切です。詳しくは見開きをご覧ください。

私たち教師もエージェンシーを発揮し、新しい物事に前向きに取り組み、チャレンジする姿勢や、変わりゆく状況に柔軟に対応できる資質・能力を身に付けていきましょう。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！



● 群馬県教育委員会 平田郁美教育長からのメッセージ ●

子供たちは、生まれながらにして自分と社会をより良くしようとする意志を原動力にして、発達の成長しようとする力を持っています。この力を生かした教育の実現に向けて、失敗を恐れず、試行錯誤しながら取り組んでいきましょう。



令和6年3月 群馬県教育委員会

（エージェンシーを発揮するための学びを推進するリーフレット）

メッセージ
動画はこちら

共通認識したいこと

自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の興味・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 「取り入れたい場面」を意図した問題解決の学びを行います。
- 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意欲を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意図した発問等）を行います。
- 子供たちが好きなこと、興味・意欲の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でよい方法を考えることができるようにすることが大切です。

変化の激しい社会を
自分の力で
歩んでいる人

《取り入れたい場面》

自己決定

自己決定
対話・交流
試行錯誤

当事者意識をもち、主体的に学習に取り組む
自分の考えを他人、他者との共感や理解を深める
失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を講ぐ

エージェンシーを発揮（自律した学習者）

ポイント

発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の整備をしましょう。

● 水遊びの場面（水遊びおもちゃ）

水が低いところから低いところへ落ちる仕組みを利用した「くじりのおもちゃ」を用意して、見守りましょう。

子供たちが何回も自分たちで「くじりのおもちゃ」を利用しながら、さまざまな方法を発見することができました。

教科学習の場となる喜びが自然に行われます。

小学校

ポイント

「課題を自ら見いだし、考える」場を増やし、自分で学びを仕る楽しさを実感できるようにします。

● 1年理科「ながくくぐりの比較の仕方について考える場面」

友達と一緒に考え比べたうえで、でも自分だけが受けとれるカラー...

「くぐり」を比べるよりも、距離半分まで比べられるもの...

リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意して、自由に使えるようにします。

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

様々な方法で考えたことを交流する機会を味わうとともに、次の性質を多面的に考えることができました。

学習形態や学び方、解決の方法を生徒が選ぶようにします。

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りや各教科等の学びに活かしとが育ちを生み出すこととなります。

行事等

豊かな思いを自由に表現する表現展

自分の思いに合うくじり作り行事

全体生徒で問題を発見する委員会活動

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきます。

● 1年理科「光の性質」の自身が観察の大きさを考える場面

自分自身が観察を通して確かめた対比、交流の場から学びに活かす機会を増やして、学びが身につくようにします。

様々な方法で考えたことを交流する機会を味わうとともに、次の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りや各教科等の学びに活かしとが育ちを生み出すこととなります。

様々な方法で考えたことを交流する機会を味わうとともに、次の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間

総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りや各教科等の学びに活かしとが育ちを生み出すこととなります。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

今日のめあて

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

- ①地域教材と出会う姿、学びに向かう姿を思い浮かべましょう
- ②エージェンシーを発揮して情報を集めましょう

総合的な学習の時間について



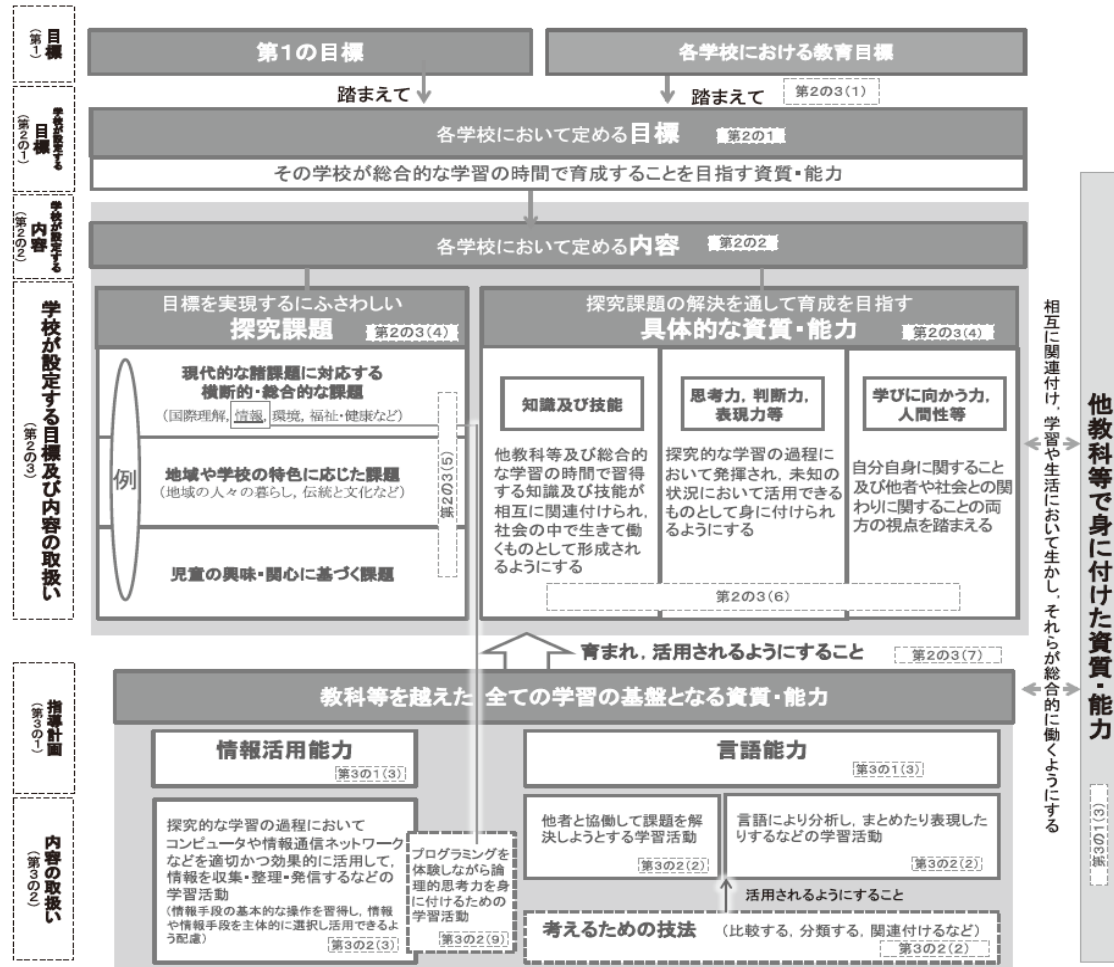
総合的な学習の時間について



★自己紹介もかねて情報交換
→所属校の探究課題（テーマ）

総合的な学習の時間について

第5章 総合的な学習の時間の構造イメージ（小学校）



第1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

・総合的な学習の時間の目標、内容
第1の目標や各学校における教育目標
を踏まえて、各学校が適切に定める。

総合的な学習の時間について

各学校で定める目標（例）

全体計画の様式例

児童の実態	総合的な学習の時間 第1の目標	保護者の願い
地域の実態	〇〇小学校 学校教育目標	地域の願い

総合的な学習の時間の目標				
内容				
学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力 知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第3学年	〇〇〇	／	／	／
第4学年	△△△	／	／	／
第5学年	□□□	／	／	／
第6学年	◇◇◇	／	／	／

学習活動 「内容」との関わりにおいて実際に児童が行う学習活動	指導方法 学習活動を適切に実施する際に必要となる指導方法	指導体制 全体計画を適切に推進するための体制	学習の評価 評価の考え方や評価方法、指導計画・学習指導の評価に関する方針、評価活動を充実させる手立て等
-----------------------------------	---------------------------------	---------------------------	--

【目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴のよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

総合的な学習の時間について

各学校で定める内容

＜目標を実現するにふさわしい探究課題＞

児童の実態	総合的な学習の時間 第1の目標	保護者の願い
地域の実態	〇〇小学校 学校教育目標	地域の願い
総合的な学習の時間の目標		
内容		
学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力 知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等
第3学年	〇〇〇	
第4学年	△△△	
第5学年	□□□	
第6学年	◇◇◇	
学習活動 「内容」との関わりにおいて実際に児童が行う学習活動	指導方法 学習活動を通じて実施する際に必要となる指導方法	指導体制 全体計画を適切に推進するための体制
学習の評価 評価の考え方や評価方法、指導計画・学習指導の評価に関する方針、評価活動を充実させる手立て等		

- ・地域や学校の特色に応じた課題
- ・横断的・総合的な課題（現代的な諸課題）
- ・児童生徒の興味関心に基づく課題
- ・職業や自己の将来に関する課題（中学校）

ものづくり
町づくり

地域防災

食文化
町づくり

環境

キャリア
地域経済

福祉

情報
町づくり

楽しく探究！

- ① 探究意欲が高まる課題の設定
- ② 楽しく探究できる学習過程の工夫
- ③ 探究をつないでいく授業の展開

実践例が少なくて…
毎年同じ内容でマンネリ化
教科書がないから…

ICT活用で広がる学び！
STEAM教育の要素で教科横断！
これからの社会に必要な力を！



総合的な学習の時間は、目まぐるしく変化する社会の中で、児童生徒がたくましく生きていくために必要な力を身に付ける上で、その重要性がますます高まっています。

これまでの各学校での実践を生かしながら、児童生徒も教師もより楽しく探究できる時間として充実させ、深まりのある学習を展開しましょう。

令和4年2月 群馬県教育委員会義務教育課

- ① 探究意欲が高まる課題の設定
- ② 楽しく探究できる学習過程の工夫
- ③ 探究をつないでいく授業の展開

① 探究意欲が高まる課題の設定

学習を奨励する意欲の
高い子供は、**学校の授業**が
大切です。

国家的な学習をより充実させていくためには、**学校の課題が児童生徒にとって自分事となっていく**ことが重要で、**「わかる過程」**に、**理解**と**学び**の両面を大切に、**児童生徒の探究意欲（「わかる意欲」）**を高めていくことが大切です。以下の課題例を参考に、**児童生徒をスタートさせましょう。**

今年度は、新しい授業展開に
挑戦してみよう！

よし、
やってみよう！

「わかる過程」の事例例（探究課題から単元名の決定まで）

「つかむ過程」の実践例（探究課題から単元名の決定まで）

SDGsの視点を参考にしながら、社会や環境、児童生徒の実情に合わせた授業を行っているが、学校全体や学年で確認し、見直ししよう。	児童生徒が思いを表現できる学習や活動を積極的に設定しよう。 「すごい、楽しかった」「すごい、紹介したい」「面白い、おかしな」「思っていたのと違うな」	児童生徒と教師がともに学び、グループを共有し、自分ごととなる単元の課題を設定しよう。 （問題点） （魅力） （ずり）	単元の課題やゴールを設定し、グループを生かしてプロセスを体験し、単元名にしよう。
--	--	--	---

探究課題	出会いの学習・活動（＜想い＞）	単元課題（ゴールイメージ）	単元名
もつくり もつくり	地域の伝統工芸品を作ってみよう 「自分の地域で大切にしたいもの」を 「自分の地域で作ってアピールしたい」	①調査結果を照らしてぐくむのにならざるももう ②ぐくむの心算をいかに表現できるか ③ぐくむの心算をいかに表現できるか 等	作ろう！私たちの 地域
地域の歴史	災害の被害と件数、被害者数を調べる 「なんかにあんな被害はとてない」とい	①災害の被害の範囲をマップで作って図解 ②被害者の被害の範囲をマップで作って図解 ③被害者の被害の範囲をマップで作って図解	地域防災リーダー になろう
食文化 もつくり	地域の有名な食材や料理を作ってみよう 「自分の地域で大切にしたいもの」を 「自分の地域で作ってアピールしたい」	①調査結果を照らしてぐくむのにならざるももう ②ぐくむの心算をいかに表現できるか ③ぐくむの心算をいかに表現できるか 等	食文化の 地域
環境	林野管理の現状と自然の豊かさを体験する 「自分の地域で大切にしたいもの」を 「自分の地域で作ってアピールしたい」	①調査結果を照らしてぐくむのにならざるももう ②ぐくむの心算をいかに表現できるか ③ぐくむの心算をいかに表現できるか 等	環境 の地域
キャリア 地域経済	職業の調査から地域の経済を把握する 「自分の地域で大切にしたいもの」を 「自分の地域で作ってアピールしたい」	①調査結果を照らしてぐくむのにならざるももう ②ぐくむの心算をいかに表現できるか ③ぐくむの心算をいかに表現できるか 等	職業の 地域
福祉	地域の高齢者について調べる 「自分の地域で大切にしたいもの」を 「自分の地域で作ってアピールしたい」	①調査結果を照らしてぐくむのにならざるももう ②ぐくむの心算をいかに表現できるか ③ぐくむの心算をいかに表現できるか 等	福祉 の地域
情報 もつくり	プログラミングの基礎を学ぶ 「自分の地域で大切にしたいもの」を 「自分の地域で作ってアピールしたい」	①調査結果を照らしてぐくむのにならざるももう ②ぐくむの心算をいかに表現できるか ③ぐくむの心算をいかに表現できるか 等	プログラミング の地域

「とりえず昨年同様…」で単元を始めるのではなく、授業の入替えなどをしながら4月は学年で共通理解を図るための準備期間として、GW明けくらいから単元を始めるという工夫も考えられます。

「STEAM教育」の要素でさらに深まる探究的な学習

Science (科学) Technology (技術) Engineering (工学)
Art (芸術・クリエイティブ・アート) Mathematics (数学)

STEAM教育とは、上の5つの要素を適用して、社会の変化に対応しながら現実の問題を解決に導いたり、今までになかったものを創造したりする学習活動です。総合的な学習の時間における課題の発見や解決に向けた取組をより充実させるためには、STEAM教育の要素を取り入れることが有効です。

STEAM教育のねらいと教育効果

【探究的な学習の中で見られるSTEAM教育の要素の例】

データ収集・分析…「S」「M」	デジタル技術の活用…「T」	実験・調査…「S」
ものづくり…「T」「E」「A」	プレゼン・発信…「T」「A」	キャリア形成…「A」

② 楽しく探究できる学習過程の工夫

これからの社会に必要な力を身に付けるためには、INPUT重視（調べ学習）の学習過程を見直す必要があります。多くの学校で実践されている「調べて発信する型」を「思いを形にする型」に変えることでOUTPUT重視となり、より楽しく探究できる学習過程になります。

調べて発信する型

知りたい・調べたい
↓
調べよう・やってみよう
↓
わかったことをまとめよう
↓
発信しよう



ココが重要!

思いを形にする型

何とかしたい、やってみたい
↓
必要な情報は何か調べたい
↓
やってみたい、作ってみたい
↓
専門家に見てもらい、改善したい



●実践例「広がれ！ぐんまのうんまい○○」（小学校高学年～中学校）（全70時間）
 （単元目標）群馬県の食文化を広げるための活動を通して、食の魅力や飲食業に関わる人々の工夫に気づき、歴史や未来について考えるとともに、地域や村に愛を持って生きている人々ができるようにする。群馬の食文化

児童生徒の意識の流れ【STEAM教育 (Science Technology Engineering Art Mathematics) の要素】

群馬にはおいしい食べ物がいっぱいあるのにあまり知られていない。群馬の食べ物の魅力やよき食卓の人に知らせたい。地域の食卓の役に立ちたい。県民名は「広がれ！ぐんまのうんまい」でやっています。


【課題の設定】
 どんな食べ物（料理）を売げようかな。よきや特徴、課題などを調べてみよう。【8・A】


【情報の収集】
 インターネットを使って調べよう。地域の食店の店長さんにインタビューをしよう。【8・A】


【整理・分析】
 グラフや表でまとめると、データの整理が見えてきた。地域の食店と関係性がありそうだ。【8・A・B】

【課題の設定】 → 【情報の収集】 → 【整理・分析】 → 【まとめ・表現】

地域の温度計を使った料理や、
 産物の特徴などを調べてみよう。
 【S・A】

農家の人にインタビューをしよう。
 好きな味付けや料理方法は、ど
 ケート調査をしよう。【S・A】

分かったことを整理して、
 オリジナルのメニューを考
 えよう。【S・A・M】

レンズ型紙を貼った店員カ
 ードに譲渡しよう。【S・A・M】

5. 【課題の設定】
店員さんのアドバイスからレシビを見直したい。【S・A】

【整理・分析】
修正するところを整理して、もっと良いレシビを作ろう。【S・A・M】

6. 【まとめ・発表】
店員さんや友達にレシビを見せよう。【S・A・M】

【課題の設定】
より多くの人に知ってもらいたいほど

【整理・分析】
様々な発信方法を比較して、自分たちの方

【まとめ・表現】
教室に設置したテレビを新聞社やテレビ局に

(雇員全体の顔引き語り)
自分たちが元来、大規模を志向していた。企業に出社してもらった後にするための工場を建てるのは本音がたしかだ。一人ではできないこ

とを協力して作り上げ、食卓や地域の人々に知ってもらえたので達成感があった。これからも野菜の食材や料理のよさを褒めない。

探究の4つのプロセス(①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現)が発展的に繰り返されるように意識することが大切です。

③ 探究をつないでいく授業の展開

単位時間の授業の中では、**めあて**と**振り返り**が重要です。総合的な学習の時間を教師と児童生徒で作り上げていくためにも、導入や終末で児童生徒の思いを生かしながら、授業をつないでいくことが大切です。

授業の導入

① **めあて**の確認
「前の時間を何をしましたか？」
「今日はどうしますか？」と問いかけ、
前時に決まっているめあての確認をする。

② **役割分担と活動方法等の確認**
自分たちでできること、教師にしても
うること等の確認をして、主たる活動
の時間を確保する。

授業の終末

- ① まとめ
めあてに対する達成度や進捗状況の確認をする
- ② 次の授業の見通し
「次の授業は何をしたい?」と問いかけ、児童
と話し合ったことを次時のめあてにつなげる
- ③ 振り返り
気づいたこと、分かったこと、頑張ったこと
と束縛に引けての勇気等を自由に話し合わせる。

児童生徒の思いをベースに授業を作ると、活動や話し合いが行き詰まることもあります。全てが児童生徒任せにならないように、教師がタイミング良く助言したり問い直したりすることが重要で、その際に意識することは以下の2点です。

- 目的意識…何のための活動なのか？
- 相手意識…誰に向けての活動なのか？



児童生徒も教師も楽しく探究するためのチェックリスト

- 探究課題がふさわしいかどうか、職員全体で確認し、全体計画を見直しているか
- 単元の課題が、実社会や地域の課題を解決するためのものであるか、また、自分事でワクワクするものになっているか
- 単元のゴールイメージが明確になっていて、目的意識と整理意識があるか
- 探究のプロセス ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現
が体系的に繰り返される学習過程になっているか
- INPUTよりOUTPUTを重視した活動になっているか
- 各教科等の学習内容やSTEAM教育の要素と関連付けることで探究が深められているか
- 児童生徒にとって教師だけでなく、学ぶ喜びや楽しさを感じながら学習になっているか

群馬県教育委員会
国立教育政策研究所
発行の参考資料

図解グラフィック ための学習資料 (中) 	図解グラフィック ための学習資料 (中) 	図解グラフィック ための学習資料 (中) 	図解グラフィック ための学習資料 (中) 
--	--	--	--

総合的な学習の時間について

① 探究意欲が高まる課題の設定

探究的な学習をより充実させていくためには、単元の課題が児童生徒にとって自分事となっていることが最も重要です。「つかむ過程」において、単元との出会いの活動を工夫し、児童生徒の探究意欲（ワクワク感）を高めていくことが大切です。以下の実践例を参考にして単元をスタートさせましょう。

単元との出会いの活動を工夫
→ 探究意欲を高めていく



自分事となる単元の課題の設定

探究課題	出会いの学習・活動→「思い」	単元の課題（ゴールイメージ）	単元名
ものづくり 町づくり	地域の伝統工芸品を作ってみる →「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に見てもらおう 〇〇さんの店に置いてもらおう 作った〇〇を〇〇に置いて使ってもらおう 等	作ろう！私たちだけの〇〇

児童生徒が思いを実感できる
学習や活動を意図的に設定

共通の体験活動や
専門家の話を聞く機会の設定



助けたい、変えたい（問題点）

すごい、紹介したい（魅力）



意外だ、おかしいな（ずれ）

思っていたのと違うな（隔たり）

自分事となる単元の課題の設定

今まで知らなかったよ!!

すごい、紹介したい(魅力)

いいもののなのに、知られてない...

意外だ、おかしいな(ずれ)

このままだと...

助けたい、変えたい(問題点)

ものづくり
町づくり

地域の伝統工芸品を作ってみる
→ 「自分たちなりにアレンジしたい」
「いい物を作って町をアピールしたい」

思いを引き出す

自分事となる単元の課題の設定

キャッチフレーズ化

探究課題	出会いの学習・活動→「思い」	単元の課題（ゴールイメージ）	単元名
ものづくり 町づくり	地域の伝統工芸品を作ってみる →「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に見てもらおう 〇〇さんの店に置いてもらおう 作った〇〇を〇〇に置いて使ってもらおう 等	作ろう！私たち だけの〇〇



いい物を作って町をアピールしたい。



何であまり知られていないのかな？



目にする機会が少ないね。



展覧会を開けば、見てもらえるかも。

児童生徒と教師が話し合い、
ゴールイメージを共有



〇〇展覧会を開いて
多くの人に見てもらおう

自分事となる単元の課題の設定

何のため？

目的意識

誰のため？

相手意識



総合的な学習の時間の充実に向けて

SDG s の視点を持たせたいですね。

今年は、新しい探究課題に挑戦してみませんか！



教職員が協力して意図的に構想

① 探究意欲が高まる課題の設定

学習を開始する前の職員での話し合いが大切ですね。

探究的な学習をより充実させていくためには、単元の課題が児童生徒にとって自分事となっていることが最も重要です。「つかむ過程」において、単元との出会いの活動を工夫し、児童生徒の探究意欲（ワクワク感）を高めていくことが大切です。以下の実践例を参考にしながら単元をスタートさせましょう。

「つかむ過程」の実践例（探究課題から単元名の決定まで）

SDG s の視点を参考にしながら、社会や地域、児童生徒の実態に合っているか、学校全体や学年で確認し、見直ししましょう。

児童生徒が意欲を実感できる学習や活動を意図的に設定しましょう。

児童生徒と教師が話し合ってお互いのイメージを共有し、自分事となる単元の課題を設定しましょう。

単元の課題やゴールイメージをキックオフセッションで共有しましょう。

探究課題	出会いの学習・活動・「悪い」	単元の課題（ゴールイメージ）	単元名
ものづくり 町づくり	地域の伝統工芸品を作ってみる →「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に覚えてもらう 〇〇さんの店に置いてもらう 作った〇〇を〇〇に置いて使ってもらおう等	作ろう！私たちのだけの〇〇
地域防災	災害の種類と特徴、被害者数を調べる →「なんとかしなきゃ」「人ごとじゃない」	〇〇災害のための防災マップを作って配ろう 避難所開設の訓練をしよう等	地域防災リーダーになろう
食文化 町づくり	群馬の有名な食材や料理を調べる →「オリジナル〇〇を作って町おこしだ」	オリジナルメニューを地域の食堂に提案しよう できるだけ多くの人に知らせよう等 深化学習	広がれ！ぐんまのうんまい〇〇
環境	林間学校等で群馬の自然の豊かさを体験する →「この自然を守りたい」	森林や動物を守るための看板やポスターを作ろう 群馬の自然をPRする動画を作成しよう等	守り育てよう！群馬の自然
キャリア 地域経済	職業体験等から地域の課題を把握する →「大丈夫？」「もっと発展させよう」	地域が発展するためのイベント等を企画・立案し 市役所等に提案しよう等	〇〇市役所 中学生の未来課
福祉	地域の高齢者とふれあう →「元気でいてほしい」「笑顔にしたい」	地域のお年寄りが笑顔になることをしよう 例：漫才・コント・落語・音楽・劇等	元気・笑顔拡散プロジェクト
情報 町づくり	プログラミング体験をする →「この技術で役立つことをしたい」	地域の魅力を発信するアプリを作成しよう等	アプリで活性！〇〇町

「とりあえず昨年同様・・・」で単元を始めるのではなく、授業の入替えなどをしながら4月は学年で共通理解を図るための準備期間として、5W明けくらいから単元を始めるという工夫も考えられます。

「STEAM教育」の要素でさらに深まる探究的な学習

Science（科学） Technology（技術） Engineering（工学）
Art（芸術・リベラルアーツ） Mathematics（数学）

STEAM教育とは、上の5つの要素等を活用して、社会の変化に対応しながら現実の問題を解決に導いたり、今までにないものを創造したりする学習活動です。総合的な学習の時間における課題の発見や解決に向けた取組をより充実させるためには、STEAM教育の要素を取り入れることが有効です。

※「リベラルアーツ」は人文科学等の幅広い教養を指します

【探究的な学習の中で見られるSTEAM教育の要素の例】

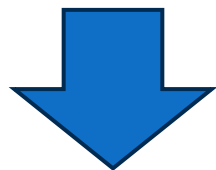
データ収集・分析・・・「S」「M」	デジタル技術の活用・・・「T」	実験・調査・・・「S」
ものづくり・・・「T」「E」「A」	プレゼン・発信・・・「T」「A」	キャリア形成・・・「A」

この後の研修は

テーマ：地域の魅力発掘大作戦

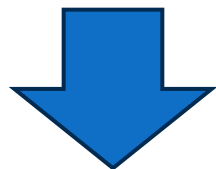


◇講義で情報収集（地域教材を知る）



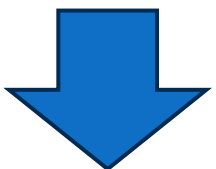
◇班別協議①で行動計画作成

児童生徒が教材と出会う姿を想定



◇班別研修で情報収集（地域教材と出会う）

教師も共に学ぶ学習者として



◇班別協議②で地域教材の生かし方を整理



まとめ

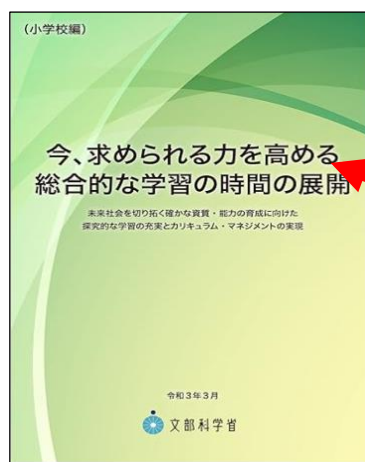
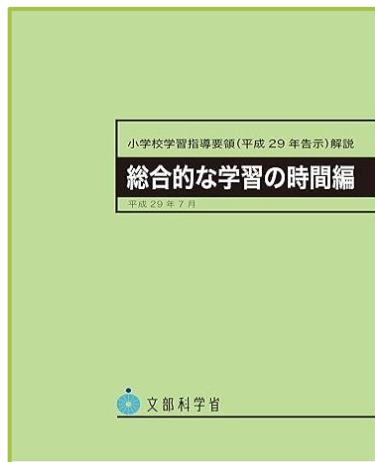
①地域教材と出会う姿、学びに向かう姿を思い浮かべましょう

- ・気づきや疑問を出し合うなどしてゴールイメージを共有し、児童・生徒のワクワク感が高まるような出合いの活動の工夫を！

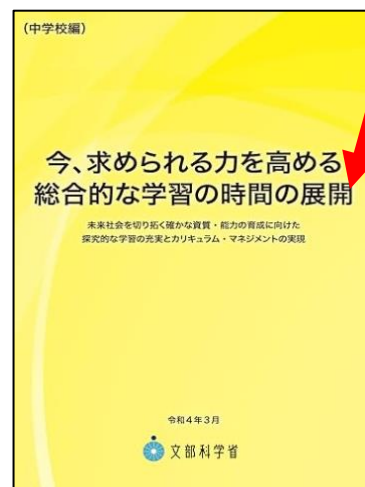
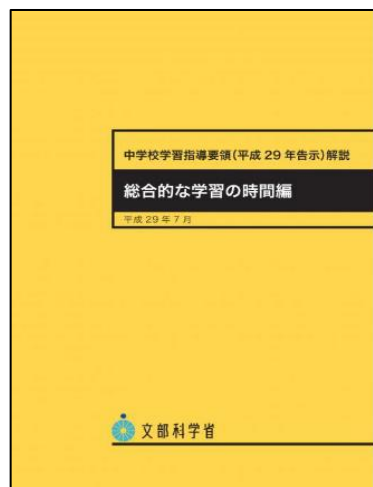
②エージェンシーを発揮して情報を集めましょう

- ・目的や相手を確認したり、考えを整理したりして、児童生徒を支えながら共に探究していく姿勢を大切に！

【重要】 授業を行う際には、目を通しましょう



わかりやすい解説
具体的事例あり



授業づくりの
基本



【参考資料Ⅰ】各教科等授業改善プロジェクト

【総合的な学習の時間】



◎各教科等の「学習指導案」「授業記録」「授業改善研修会資料」
授業改善研修会資料では、学校教育の指針に示された授業改善のポイントを具現化するための具体を説明しています。

昨年度の取組

- 探究課題と出会う場面で、体験活動や専門家の話を聞く機会など、自分事として課題を捉えられるような活動を設定する。
- 子供の思いや願いをつなぐ学習過程や授業展開を工夫する。
- 全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し、互いの専門性や特性を発揮し合って実践していく校内推進体制を整える。

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

「つかむ」過程
教師の意図的な働きかけが大切になってくる。

例) 美土里小6年
指導と評価の計画

インタビュー
体験活動

観光課の職員の話を聞き、今までの自分との考えとのズレに気付く

ゴールイメージを話し合い、単元の課題を設定する

単元名の設定ゴールイメージをキャッチフレーズ化

③ 校内推進体制の整備

【前提条件】
各学校の教育目標の実現に当たって、総合的な学習の時間が重要な役割を果たすことを全教職員で理解

ア 校長先生の方針
校長先生から自分の学校のビジョンを全教職員に説明
教師が知恵を出し合ったり、相談し合ったりできる体制や雰囲気づくり

イ 指導計画の作成
全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成

ウ 実践
互いの専門性や特性を発揮し合って実践
児童生徒の学習の進行によって、支援者は変化

～本日の内容～

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針
～総合的な学習の時間の「特に現れてほしい子供の姿と重点」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」を具現化するために
～本単元を基に～

本日のまとめ

- 子供自身が自らの思いや願いの実現に向かう学習活動を、教職員が協力して意図的に構想しましょう。
- 子供と共に悩んだり喜んだりしながら、教師も子供と一緒に探究を楽しみましょう。